

森脇 亮（もりわき りょう）

所属：理工学研究科 生産環境工学専攻 環境建設工学コース

学位：博士（工学）

Web : <http://www.cee.ehime-u.ac.jp/>



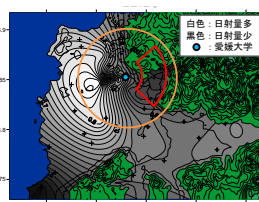
【太陽光パネルを用いた日射量センシングとゲリラ豪雨の予測】

特徴・独自性

実際の家屋や公共施設などの屋根への普及が進んでいる一般的な結晶系太陽光パネルを利用し、太陽光発電量から日射量を推定する手法を開発しています。本手法により日射量の稠密モニタリングが可能となり、ゲリラ豪雨など局地的な気象予報の精度向上が期待されます。

産学連携の可能性（想定される用途・業界）

レーダにうつらない初期の雲の発生のモニタリングをローコストで実現できます。ゲリラ豪雨の「卵」を発見することで、局地的な雷や集中豪雨の早期予測・防災情報の発信に役立ちます。また太陽光発電に新たな「付加価値」を付与することで再エネの普及促進に役立ちます。



キーワード

太陽光パネル、ゲリラ豪雨、天気予報、再生可能エネルギー、日射量

共同研究者

都築 伸二 教授（理工学研究科 電子情報工学専攻 電気電子工学コース）

藤森 祥文 助教（理工学研究科 生産環境工学専攻 環境建設工学コース）

関連情報

論文

森脇亮ら、「太陽光発電を利用した全天日射量の推定」、土木学会論文集 B1(水工学), 71, I_421-I_426 (2015)

所属学会 土木学会、気象学会、水文・水資源学会